

染色方法について

化学（合成）染料を使用した染色方法に対して、果実や植物などの天然染料を使った染め方のことを、「草木染め」といいます。



引用：環境にもやさしい「草木染め」とは？その方法やグッズもご紹介！ | SDGs/エシカル/ノベルティ・オリジナルグッズの紹介
やトレンド情報を発信中！株式会社トランス（東京・大阪）(trans.co.jp)

草木染めの魅力

・経年変化で味が出る

化学染料と違って草木染めならではの楽しみ方のひとつに「経年変化で味が出る」というのがあります。時間とともに深みが増すことで、より味のある色合いを楽しめます。使っている人やそのアイテムによっては一部の色が白っぽく使い込んだ雰囲気が出たり、逆に洗みが出たりして落ち着いた印象になることも。どんな色合いが出るのかは、使い方やその入次第で未知数です。

・個々の色合いを楽しめる

化学染料は同じものを大量生産することに向っていますが、草木染めはひとつひとつの個性を楽しむことができます。同じ材料で染めたとしても、採取した季節が違えばその色味も少しずつ変わってきます。もちろん浸けておく時間を変えれば、その濃淡も変化します。つまり、まったく同じものは二つとない「唯一無二」のものです。



地球や人にも優しい草木染め

・地球環境を考えた排水処理（自然回帰）

昨今、環境汚染が極めて深刻になっていますが、その中の一つが水質汚染です。化学染料を使用した後の水の処理も大きな問題となっています。草木染めは自然から採った染料のため、地球環境を改善できる方法のひとつです。草木染めで使用するポピュラーな媒染液の中にはショウバン（アルミ）などもあるので、ろ過して廃棄するより地球にやさしくなれます。

・人体への悪影響が少ない

化学染料はたくさんの衣料を一度に染めることができ色落ちにくいというメリットがありますが、人体に良くない成分が含まれています。社会的に注目されるようになったのは、2015年に化学工場で働く人たちが相次いでがんを発症してからです。化学染料の一部である成分が人体に悪影響を及ぼす可能性があるのだとか。その点、草木染めは素材として使用する植物が自然に由来していることや食べ物としても取り入れられるものも多いので、人体への悪影響は極めて少ないといえます。



草木染めに関するSDGs

環境・社会・ガバナンスの観点から、SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説

SDGsの観点から解説